

施設利用者を 新型コロナウイルス感染症から守るために

長崎市にも第 8 波が迫りつつあります。施設内での陽性者発生に備えて、準備をしておきましょう。

入所者で陽性者が発生した時の対応について

基本は 施設内での療養 となります。

酸素化（SpO₂）の低下等が見られる場合は、まず主治医へ相談し、専門外来の受診・入院の指示があった場合に保健所で調整します。

第 7 波の流行ピーク時では、入院となったかたは施設内療養者の約 1 割 でした。

第 8 波では病床の更なるひっ迫が予想されています。

入院した場合も療養期間内に状態が改善した場合は、施設内療養に戻るため施設からの送迎をお願いしています。

施設内療養の準備を勧め、ゾーニング（エリア分け）を決めておく等の 陽性者発生時の対応についてシミュレーションを行ってください。

事前に備えておきたいポイント

1. ワクチン接種を検討しましょう

重症化リスクを防ぐ効果があります。基礎疾患等をふまえて、主治医へ接種について相談しましょう。

2. 施設医・協力医・かかりつけ医との連携

体調不良の際、まずは主治医へ相談していただくこととなります。

夜間・休日の相談体制についても、事前に調整をお願いします。

3. PPE 物品（特に N95 マスク）の準備

物品の準備だけでなく、着脱の方法についても確認しておきましょう。

4. アルコール手指消毒の習慣化

日頃から習慣づけておくことで、感染予防にもつながります。

5. 解熱剤・抗原検査キットの準備

緊急時に使用できる解熱剤や体調不良者が出た時のために抗原検査キットを準備しましょう。

6. 利用者の体調確認

症状が軽度の場合は気づきにくいことがありますので、普段からの状態観察をお願いします。

陽性になった際にパルスオキシメーターでの SpO₂ の測定をお願いしています。平常時の値を確認しておいてください。